

大阪都市圏

都市圏の環状道路ネットワークの整備

～淀川左岸線延伸部 PIプロセス^{*1}の実施～

大阪都市圏の交通混雑の緩和、環境の改善に期待されます。

背景

都心と周辺地域を結ぶ道路、都心の環状道路では慢性的な渋滞が発生しています。

近年、近畿地方、なかでも大阪都市圏の経済的な地盤沈下が大きく取り上げられています。その原因はさまざまですが、関西の中心都市『大阪』の経済活動を支える道路事情の悪さもひとつの要因と考えられます。

大阪都心部では、交通の集中により慢性的な渋滞が発生し、交通渋滞による経済損失、走行速度の低下による排出ガス問題等、さまざまな課題が生じています。

事業内容

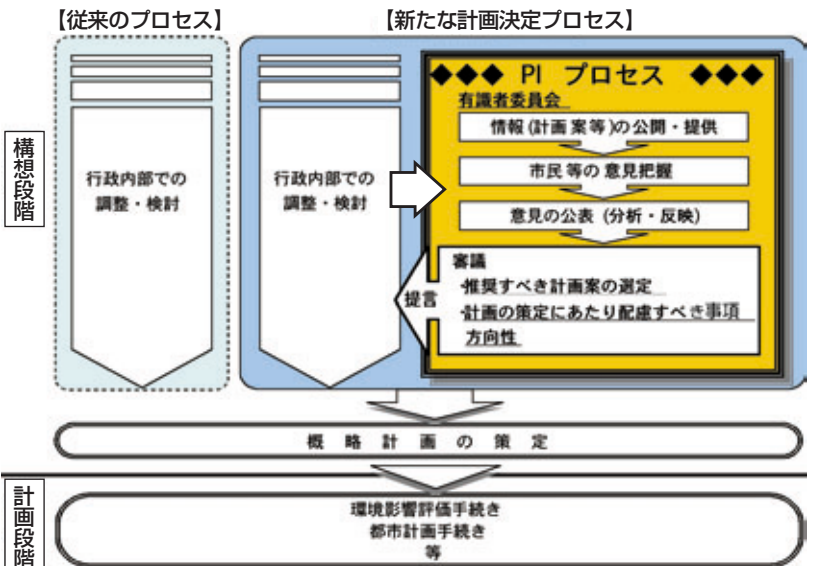
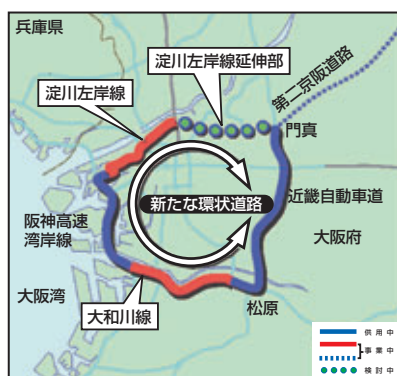
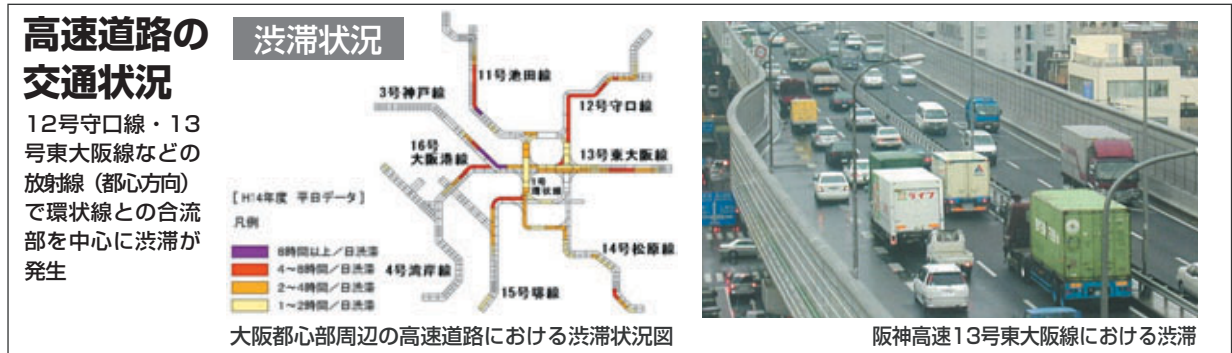
淀川左岸線延伸部の計画の策定にあたっては、PIプロセスを組み込んだ新たな計画決定プロセスを実施します。

大阪都市再生環状道路は、東は近畿自動車道、西は阪神高速湾岸線、南は大和川線、北は淀川左岸線と淀川左岸線延伸部で形成される延長約60kmの環状道路です。

このうち、平成13年8月に都市再生プロジェクトとして位置づけられた「大阪圏の新たな環状道路」（大阪都市再生環状道路）の一部を形成する淀川左岸線延伸部の道路計画において手続きの透明性・客観性・公正さを高めることを目的として、計画決定プロセスの早い段階から市民

への情報の公開や意見の聴取等の措置を講じる新たな計画決定プロセスを実施するため、学識経験者からなる第三者機関「淀川左岸線延伸部有識者委員会」を平成16年3月に設立しました。

平成16年度は、引き続き「淀川左岸線延伸部有識者委員会」で市民等の意見の把握、整理・分析を行い、淀川左岸線延伸部の必要性や推奨すべき計画等について審議いただく予定です。



用語解説

*1 PI（パブリック インボルブメント）プロセスとは、施策の立案や事業の計画・実施等の過程で、関係する住民・利用者や国民一般に情報を公開した上で、広く意見を聴取し、それらを反映する方式をいいます。